

## 2 未来へ挑戦するグリーン成長プロジェクト

### 概要

カーボンニュートラルへの対応が喫緊の課題となる中で、今後、産業分野における脱炭素化に向けた取組が円滑に進むよう、総括的にマネジメントを行う体制を構築し、企業の技術開発や企業間の連携強化等を支援するとともに、今後の成長が見込まれる環境・エネルギー、医療、バイオ等の重点成長分野におけるイノベーションの加速化を図り、本県産業の持続的な成長につなげる

### 重点策

- ④ 2050年カーボンニュートラルへの挑戦
- ⑤ 脱炭素社会の実現に貢献する環境・エネルギー関連産業イノベーションの創出
- ⑥ 全国をリードする「水素先進県」の実現
- ⑦ 健康長寿社会の実現に貢献する医療関連産業イノベーションの創出
- ⑧ 持続可能な地球環境の実現に貢献するバイオ関連産業イノベーションの創出

### (1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標			
	★★★★★ (目標を達成)					
★★★★ (計画を上回る)						
★★★ (ほぼ計画どおり)		2	コンビナート連携によるカーボンニュートラル関連事業のプロジェクト化件数 等			
★★ (計画を下回る)		1	山口県認定リサイクル製品数 (累計)			
★ (計画から大幅に遅れ)		1	燃料電池自動車等の導入台数 (累計)			
県民実感度調査 (%)	調査項目			そう思う	どちらでもない	そう思わない
	本県の産業特性と技術を活かして、コンビナート企業などで、産業分野における脱炭素の取組が進んでいる			50.6	33.3	16.1
	環境関連産業や水素の利活用、医療・バイオ関連産業など、今後、発展が期待できる産業の育成や集積が進んでいる			39.5	29.6	30.9

### (2) 主な取組と成果

#### 主な取組と成果

- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、産業分野における事業者の脱炭素化の取組を促進していくための総合的な戦略として「やまぐち産業脱炭素化戦略」を策定し、取組を推進するため、「脱炭素社会実現基金」を県独自に設置。
- **コンビナートのカーボンニュートラル**の実現に向けた取組の指針となる**構想を策定**し、企業間・地域間の連携事業の創出に向け、連携体制の活性化、コーディネート等を推進。
- 港湾における脱炭素化に向け、「徳山下松港カーボンニュートラル検討会」を開催し、「西日本エリアのエネルギー供給拠点港としての進化」を目指すべき姿として取りまとめ、これを踏まえて**港湾脱炭素化推進計画**の策定に着手。
- 自動車新時代に対応したイノベーションの創出に向け、電動車関連部品展示説明会やセミナー等を開催するとともに、補助金により**企業の先導的・先進的な研究開発等の取組を支援**。(R4事業化件数：1件 (R2補助金採択事業))
- 「**水素先進県**」の実現加速化に向けて、水素需要拡大を図るために**燃料電池自動車等の導入促進**などを行うとともに、県内中小企業等の水素関連分野への参入促進及び水

素関連製品の高性能化やコスト低減を図るために**水素関連製品の部材開発等に対する支援**を実施。

- 環境・エネルギー、水素、医療、バイオ関連分野において、やまぐち産業イノベーション促進補助金等により企業の研究開発・事業化等を支援し、**事業化件数137件**（令和5年3月末時点）を達成。
- 「やまぐちヘルスラボ」における企業の製品開発に向けた事業化支援の一環として、県民をモニターとする実証事業を実施。

### (3) 課題と今後の展開方向

課題と今後の展開方向

- コンビナートの連携事業の創出に向け、企業間調整等を進めるとともに、補助事業等の活用による事業化の支援を進める必要がある。
- アンモニア等のCO<sub>2</sub>を排出しない燃料の利用に向けた、技術開発や新たな設備導入、また、燃料の受入・供給の設備整備を促進する必要がある。
- 港湾脱炭素化推進計画の策定や、港湾施設の機能高度化等、将来のカーボンニュートラルポート形成に向けた取組の推進が必要である。
- カーボンニュートラルの実現に向けて、自動車の電動化シフトやライフサイクル全体での低炭素化への対応が必要である。
- 今後の成長が見込まれる環境・エネルギー、医療、バイオ関連分野におけるイノベーションを創出するため、関連分野における研究開発・事業化の取組をさらに促進する必要がある。
- 水素社会実現に向けては、燃料電池自動車等の導入促進など水素需要拡大を図るとともに、水素関連製品の部材開発支援による県内中小企業等の水素関連分野への参入促進などを図る必要がある。
- 地域コホート研究や実証事業の成果等を活用し、県内企業におけるヘルスケア関連製品・サービスの事業化を促進する取組が必要である。

(参考) 令和5年度の主な新規・拡充取組

#### **新** カーボンニュートラルコンビナート構築事業

本県コンビナートのCO<sub>2</sub>排出削減や次世代燃料・素材の供給基地化につながるコンビナート連携事業の実施を支援し、脱炭素社会の産業拠点となる「カーボンニュートラルコンビナート」への転換を促進

#### **新** 自動車産業電動化イノベーション等創出支援事業

カーボンニュートラルの実現に向けた電動化等に対応するため、産学公金の連携による企業の研究開発・事業化への支援等を通じて、県内企業の自動車産業への新規参入や事業拡大を促進

#### **新** 「水素先進県」実現加速化事業

燃料電池自動車等の導入促進など水素需要の拡大を図るとともに、県内中小企業等の水素関連産業への参入を支援

